

児童文化館の夏休み工作教室に参加し、
ゴムの力で進む船を作る小学生



市総合教育センター

所在地 保立町12番31号
電話 76-7330(代表)
開館時間 8時30分～21時
休館日 なし
駐車台数 93台



◎清水地区公民館の利用

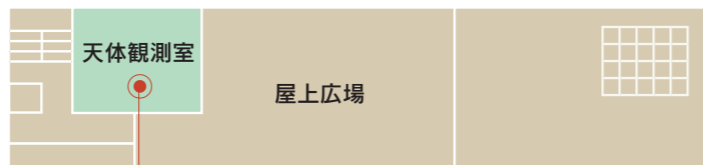
一般利用受付 9月13日①～
一般利用開始 10月12日②～
定期利用受付 11月1日③～17日④
定期利用団体連絡会 11月24日⑤
※定期利用の開始は連絡会での調整後になります。
受付・連絡先
9月30日までは社会教育課(☎24-1111)へ、10月1日からは清水地区公民館(☎76-7333)へどうぞ。

◎視聴覚教材等の貸し出し

視聴覚ライブラリーでは、視聴覚教材(ビデオ、DVD等)や各種機材(スクリーン、液晶プロジェクター等)の貸し出しを行います。対象は市民の社会教育、学校教育のために利用する団体で、料金は無料です。
受付・連絡先
9月30日までは社会教育課(☎24-1111)へ、10月1日からは総合教育センター(☎76-7330)へどうぞ。

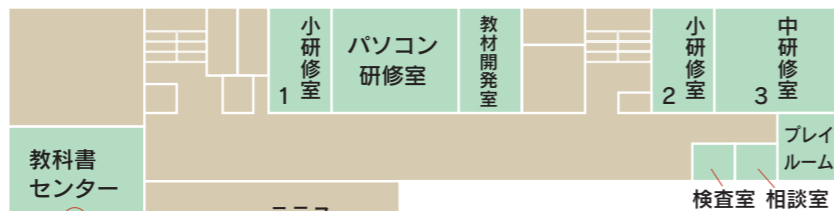
市総合教育センターフロアガイド

4階



最新式の装置を導入し、屋間でも明るい星や惑星を見ることができます。

3階



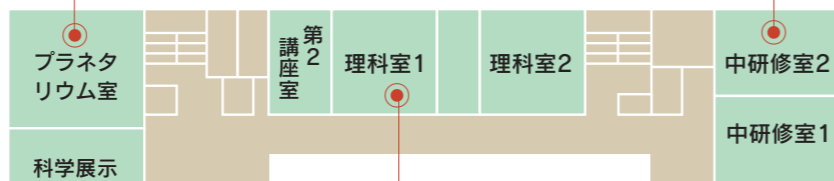
小・中学校、高校で使用している教科書を閲覧できます。

最新鋭のデジタルプラネタリウムを導入し、迫力ある映像が楽しめます。



教職員研修の様子

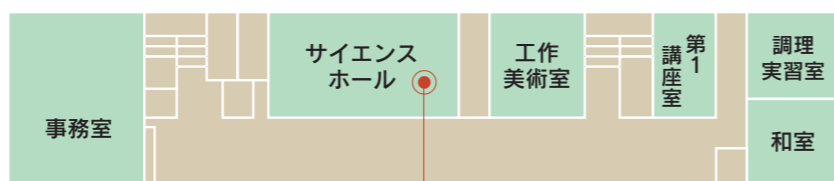
2階



「天文」「環境」「エネルギー」などをテーマにした展示やインターネット検索コーナーもあります。



1階



視聴覚ライブラリー



不思議な実験などを間近で見学、体験できる「サイエンスショー」や大規模実験などを行います。

特集

いよいよオープン! 佐世保市総合教育センター

ことし10月1日、旧保立小学校跡地に本市の教育活動の拠点施設となる「佐世保市総合教育センター」がオープンします。このセンターは、平成13年に設置された「佐世保市の教育を考える市民会議」からの提言に基づき、本市が16年度から調査研究に取り組んできたもので、「教育センター」「少年科学館」「清水地区公民館」の3つの施設を1か所に集めた複合施設になっています。今回はオープンより一足先にその概要をお知らせします。

3.清水地区公民館

地区公民館は、主に地域住民を対象に学習の機会や生涯学習活動の場を提供する機関で、現在市内に26カ所あります。今回できた清水地区公民館では、これまで中央公民館が担っていた中央地区公民館の機能を引き継ぎ、さまざまな主催事業を展開していきます。

総事業費 約13億6千万円

- ・国・県補助金4億8,400万円
- ・市債8億4,000万円
- ・一般財源4,000万円

「3つ」の機能を集約

1. 教育センター

教職員の研修機能を担う施設で、教育に関する研究調査やカリキュラムの開発支援なども行います。天神町にあった施設を移転し、本市の学校教育のさらなる充実と、教職員の資質や能力の向上に取り組みます。

2. 少年科学館

子どもたちの科学への関心を高めるため、これまで児童文化館(熊野町)で実施していた「少年科学教室」「プラネタリウム」「天体観測」などの事業を引き継ぎ、新たに、見て、触れて、楽しい体験ができる場をつくりまします。各種イベントは従来どおり本紙「施設だより」などでお知らせします。



◎写真:市総合教育センターの外観(7月23日撮影)

12万個の星と惑星が待つ宇宙空間へ出発!

宇宙を旅するプラネタリウム

昭和48年、本県で初のプラネタリウムが児童文化館に設置され、以降37年間にわたり多くの市民に親しまれてきました。そのプラネタリウムもことし9月でその役割を終え、今回新しく生まれ変わることになりました。

総合教育センターの2階に完成した新しいプラネタリウム室は、最新鋭のデジタル式投影機を採用。一度に約12万個もの星を映し出すことができます。また地球上から見上げる星空のほかに、惑星が迫ってくるようなダイナミックな映像を映し出すことも可能で、宇宙空間を旅しているような感覚を味わうことができます。

そうした機能を十分に生かし、子どもたちの天文に対する関心を高め、大人も子どもも楽しく学べるような番組内容にしていきますので、ぜひ一度ご覧ください。

学習投映

月や太陽の動き、季節の星座の解説など天体に関する基本的な知識を深める内容です。

対象 学習投映① 幼稚園、保育園、学校等の団体

学習投映② 子ども会や児童クラブ等の団体、個人

料金 市民は無料 ※団体の場合は要予約。

一般投映

リアルな映像と音で宇宙のスケールの大きさと不思議を体験する内容です。

対象 市民など

料金 4歳～中学生150円、高校生以上300円

投映時間割 (投映時間はいずれも約45分)

投映時間	1回目 10時	2回目 11時	3回目 13時	4回目 15時	5回目 16時
平日	学習投映① (学校等の団体 以外は利用できません)			一般 投映	一般 投映
土曜・夏・冬・春 休み中の平日	学習 投映②	学習 投映②	一般 投映	一般 投映	一般 投映
日曜	一般 投映	一般 投映	一般 投映	一般 投映	一般 投映

少年科学館

開館時間 9時～17時 (火曜、祝日、年末年始を除く)

お尋ね ☎23-1517(9月30日までは児童文化館に、10月1日からは少年科学館につながります)

※プラネタリウムのオープンは10月16日です。

※団体予約は10月4日から受け付けます。

開館記念番組「ユニバース～神秘と驚異の宇宙～」の一場面。一般投映で上映予定。

見て、触れて、
楽しんで。

最新式望遠鏡で昼でも惑星観測が可能に!

近年、子どもの「理科離れ」が問題となっています。充実した環境の中で、子どもが理科や科学に親しんだり、関心を高めたりするための学習や体験活動の拠点となるのが「少年科学館」です。

少年科学教室で研究に挑戦

毎年、「バードウォッチング」「発明」「自然発見」「楽しい実験」「地球科学」など7つの教室に分かれ、学習や研究を進めていきます。

科学教室やおもしろ実験の実施

子どもたちが「えっ!!」「どうして?」と科学の不思議を体験できるおもしろ実験教室、科学の仕組みを学び、工夫する力を育てる科学工作教室などを実施します。

科学展示コーナーの設置

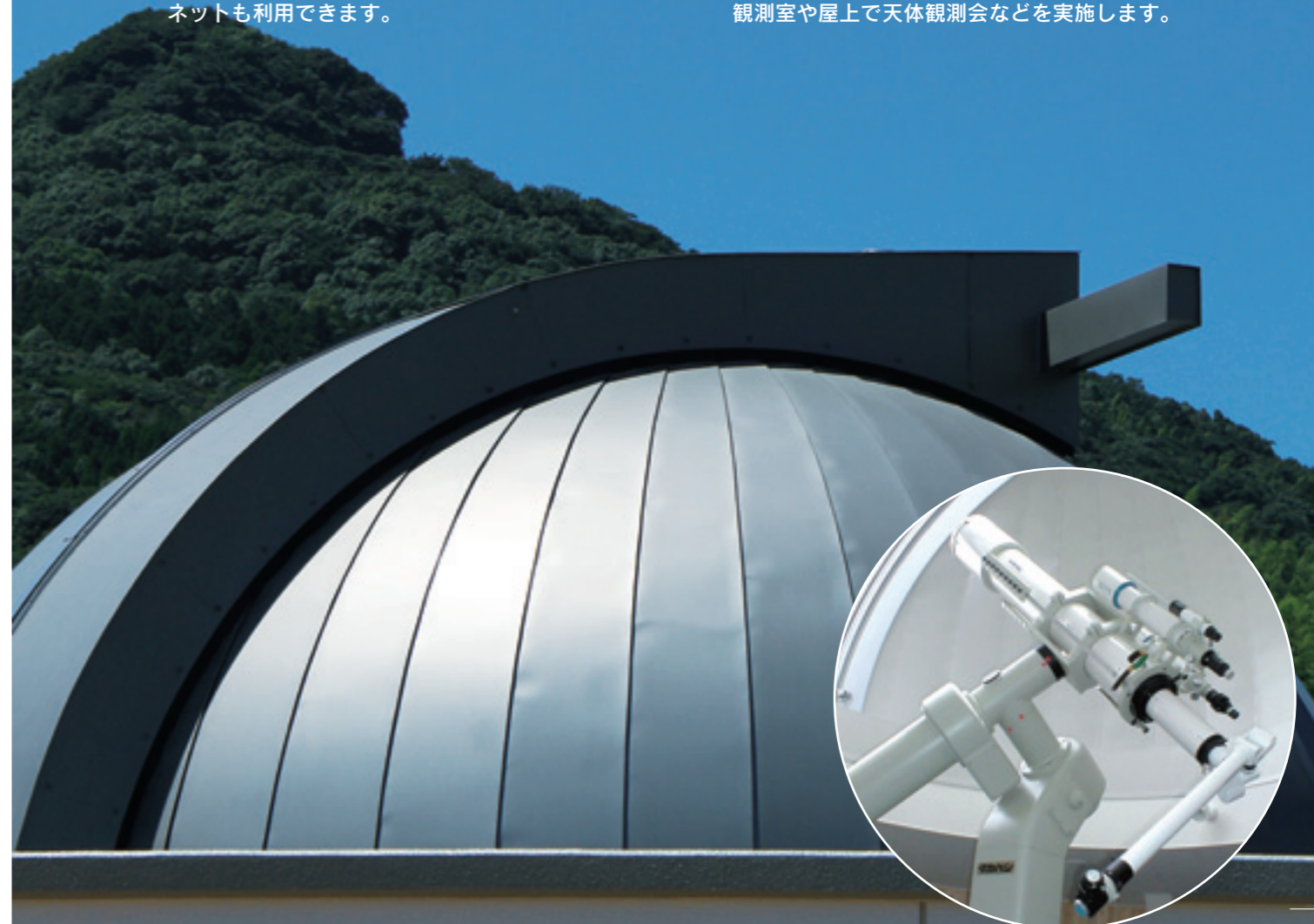
「天文」「環境」「エネルギー」「自然科学」「下村脩博士」などのテーマに沿った展示コーナーを設置。見て、触れて、楽しい体験ができるほか、インターネットも利用できます。

サイエンスショーや大規模実験に参加

サイエンスホール等を活用し、「サイエンスショー」などを定期的に開催。不思議な実験を間近で体験できます。また、学校では行うことが難しい大規模実験を行うなど、発展的なテーマに取り組むことで、子どもたちの興味、関心を深めます。

みんなに優しい最新式の天体観測室

総合教育センターの最上階に、20cm屈折式望遠鏡を備えた天体観測室を設置しました。最新式の自動導入装置を装備しているため、昼間でも明るい惑星や星を見ることができます。室内はバリアフリー化しており、車いすの人や高齢者も楽な姿勢で観測を楽しむことができます。また補助望遠鏡や各種カメラも設置しています。夜間には、この観測室や屋上で天体観測会などを実施します。



屈折式望遠鏡「FCT-200」